

SIETAR Kansai presents : 女性のミニ映画祭

大阪・奈良 JALT と共催

3 月は女性歴史月間なので、これを記念して：

女性映画製作者：過去、現在、未来

日時： 2024 年 3 月 30 日（土） 時間：14:00～17:00

言語： 英語

会場： 西宮大学交流センター（ACTA 東館 6 階 講義室 1 室）
阪急西宮北口駅より徒歩 2 分

料金： 学生、SIETAR、JALT 会員は無料。 非会員は 500 円

懇親会（オプション）： セミナー後に近くのレストランでディナー

3 月 27 日（水）までに要予約 連絡先：fujimotodonna@gmail.com

映画祭のプレゼンター：

過去：



タマラ・コーエンは大学で英語を教え、いくつかの示唆に富む映画を制作したほか、何百もの学生のプレゼンテーションをインタラクティブなビデオ教材に変換しました。彼女は早期退職し、京都の猫保護区の活動に専念している。

現在：



フェリシティ・ティラックはオーストラリア出身の作家・映画監督で、日本を拠点に長編・短編映画を数本制作している。YouTube チャンネル、Instagram、TikTok シリーズを積極的に展開し、いずれも日本とその文化を探求している。彼女の 2019 年デビュー作『Impossible to Imagine』は、アイデンティティとバイカルチャーの問題を扱った恋愛映画で、アマゾン・プライムでストリーミング配信中（プライムをお持ちでない方は、Vimeo（レンタルまたは購入）でご覧いただけます）。**イベント前にこれを視聴してください**（時間の都合上）

<https://vimeo.com/ondemand/impossibletoimagine3>

未来：



スンヒョン・リーはソウル出身のデザイナー兼ビデオグラファーで、最近韓国の伝説に基づいたフェミニスト寄りの短いビデオを制作した。彼女は現在、韓国社会の反女性的な流れを痛感している新進気鋭のアーティスト、チャンミの油絵と個人的な記録に命を吹き込むために、ビデオを使って取り組んでいる。このコラボレーションは新しく革新的であり、アートと映画の世界に興味深い展望を開くことを約束している。

